2025 年 5 月 15 日

ご　挨　拶

平素は格別なご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

わが国経済は、インバウンド需要の高まりや雇用、所得環境の改善が進んではいるものの、米や野菜を中心とした生鮮品、そして加工食品やエネルギー価格の高止まりなどにより家計の負担が更に増加する中、米国政権による通商政策の見直しなども加わり大変不透明な状況が続き、当社グループが属する食品宅配事業におきましても、大変厳しい環境となりました。

そのような環境下ではありましたが、「稼ぐ力の醸成」を目標に掲げ、従業員数の適正化を図るためパート、アルバイトの積極採用や、シフト制の実施等による人件費の変動費化を推進してまいりました。一方、生鮮食品や加工食品の仕入れ値が高止まりする中、仕入れ先業者の新規開拓や、外注していた原材料加工の内製化など、商品原価の管理を徹底し、低減を図ってまいりました。

営業部門では、新規並びに休眠先のお客様を引き続き積極的に開拓するとともに、高齢者施設向け商品についても販売開始から凡そ 1 年半が経過し、取引先施設数も着実に増加してまいりました。今後も高齢化社会が更に進む環境を見据え、このビジネスを成長させてまいるとともに、在宅の高齢者や生活習慣病を抱えるお客様向けに栄養コントロール弁当などの商品も積極的に展開してまいります。また、当社の主力商品である夕食食材については、お客様に利用してよかったと思っていただける改善改革を強力に推し進め、有名外食チェーンとのコラボレーションや、ご当地グルメのほか、当社購買担当者が直接産地へ赴き買い付けした新商品も大変ご評価いただけたことなどから、今後も美味しさは勿論、「わくわく感」を感じていただける商品の導入を積極的に行ってまいります。

本年 4 月より主力メニュー商品の値上げを実施いたしましたが、実施までに十分な準備期間を設け、メニュー内容の充実やボリュームの強化を行った結果、引き続きご好評を頂戴しております。当社としては更に品質や利便性を高めるために、メニューブックの刷新や、自社開発商品の提案を含めた新たなサービスを提供し続けてまいります。

このような中、当社は先日、2025 年 3 月期決算を発表いたしました。連結業績（累計）は、売上高 6,060 百万円（前年度比 94.8%）、営業利益は 16 百万円（前年度比 32.6%）、経常利益 2 百万円（前年度比 4.6%）、親会社株式に帰属する当期純損失は、繰延税金資産を取り崩したことなどにより、▲69 百万円となりました。

既に進行しております 2026 年 3 月期の業績については、値上げの効果や新商品の開発による付加価値の強化、そして新たなマーケティング戦略を積極的に推進させることで、売上高 6,531 百万円（前期比 7.8%増）、営業利益 119 百万円（前期比約 6.1 倍）、経常利益 107 百万円（前期比約 46.1 倍）、親会社株主に帰属する当期純利益 87 百万円を見込んでおります。

今なお続く厳しい環境下ではありますが、社会情勢や消費者動向などを分析し、新たなお客様にご利用いただけるためのマーケティング部門の強化を柱として引き続き稼ぐ力の向上と事業の拡大を図ってまいりますので、一層のご指導ご支援賜りますよう、衷心よりお願い申し上げます。

株式会社ショクブン
代表取締役社長
吉田 朋倉